

広報伊方町

発行所
愛媛県西予郡伊方町湊通
〒796-03 伊方町8-0211

伊方町
編集室
社長 室公
印刷所 豫社
豊後 八幡浜市松竹 22-0144

今月の紙面

- 二面 三面 国道四キロに踏巻帯できる
- 四画 井上ミミさん(豊之浦)が今年の長寿町内一
- 五画 環境整備調査案を了承
- 六画 故郷の思い出
- 国民年金の支給額増加



伊方中学校グラウンドで開かれた町消防操法大会写真は第九分団(豊之浦)の皆さん



町大会で二回めの優勝に輝いた第七分団の出場選手

第7分団(中浦)が優勝

炎天下・町消防操法競技大会開く

自動車部は第十四分団

もし私たちの回りで火災が発生したら、真っ先にかけつけてくれるのが消防団です。

こうした非常時に迅速適正な消火活動ができるように、八月一日伊方中学校グラウンドで町消防団(池田六郎団長)主催の消防操法競技大会が開催されました。

この結果、小型ポンプ操法部では第七分団(中浦)、自動車ポンプ操法部では昨年引き続き第十四分団(須賀・畑)が優勝しました。

今年の大会には、小型ポンプ操法の部十六チーム、自動車ポンプ操法の部三チームが出場。

消防活動に最もたいせつな「早さ・正確さ・規律正しさ」など日ごろの練習成果を競い合いました。

当日は、夏の太陽が照りつける炎天下、それぞれのチームから選ばれた選手が、ホースを肩に汗だく走り回っていました。

大会成績は、審査員十六人が出場選手一人につき、百項目あまりを減点加算方式で採点。この結果、減点の少なかった次のチームが上位入賞しました。

【小型ポンプ操法の部】
優勝 第七分団(中浦)
二位 第十五分団(西久保)
三位 第八分団(川永田)

【自動車ポンプ操法の部】
優勝 第十四分団(須賀・畑)
二位 第五分団(湊浦)
三位 第七分団(加周・田之浦・古屋敷)

なお、小型ポンプの部の上位二チームと自動車ポンプの部の優勝チームは、八月二十二日に瀬戸町で開かれた八西消防操法大会に出場、第十五分団(西久保)が三年連続優勝、第十四分団が三位、第七分団も五位に入賞いたしました。また、第十四分団は、九月五日に松山市で行われた県大会に出場、二年連続三位に入賞しました。

九町診療所建設始まる

待望の医療施設・四月開業予定

地域医療の拠点となる「九町診療所」の起工式が八月二十五日に行われ、建設工事がいよいよ始まりました。

起工式には工事関係者四十五人が出席、現地で工事の無事を祈りました。

九町診療所の建設概算は、鉄筋コンクリート造り三階建て八百九十七平方メートル。工費は医師住宅も含めると一億八千九百万円です。

待望の医療施設として、来年三月には立派な施設が完成します。医師確保が順調に進めば、四月には開業の予定です。



福田町長のくわ入れ、工事の無事を祈りました。

公営住宅など
三施設も建設中

本町は、豊かで住みよい町づくりをめざし、多くの公共施設をすすめています。

設の建設を積極的に推進、今年も、九町診療所のほか、湊浦公営住宅、川水田二小集落改良住宅、豊之浦小学校体育館の建設をすすめています。

第七分団分団長
竹内柳一郎さん

二位と好成績を残していることが頭の中であり、なんとか入賞したかった。

今年は、ベテラン選手の頑張りと、団員みんなの協力で大変な練習ができた。優勝することのでき、毎日遅くまで練習した甲斐(かい)があった。

四位 第十三分団(向)
五位 第三分団(仁田之浜)
六位 第十分団(伊方越)

【自動車ポンプ操法の部】
優勝 第十四分団(須賀・畑)
二位 第五分団(湊浦)
三位 第七分団(加周・田之浦・古屋敷)

なお、小型ポンプの部の上位二チームと自動車ポンプの部の優勝チームは、八月二十二日に瀬戸町で開かれた八西消防操法大会に出場、第十五分団(西久保)が三年連続優勝、第十四分団が三位、第七分団も五位に入賞いたしました。また、第十四分団は、九月五日に松山市で行われた県大会に出場、二年連続三位に入賞しました。

過ぎしやすかった今年の夏

長雨の影響? 8月の天気

その気になる天気、松山地方気象台の予報では、九月はやや気温が低く、雨が多くなりそう。十月は気温・降雨量とも半年並みというところ。

▽熱帯夜：一日の最低気温が二十五度以上の日、一般に寝やすい夜のこと。

▽真夏日：一日の最高気温が三十度以上の日。

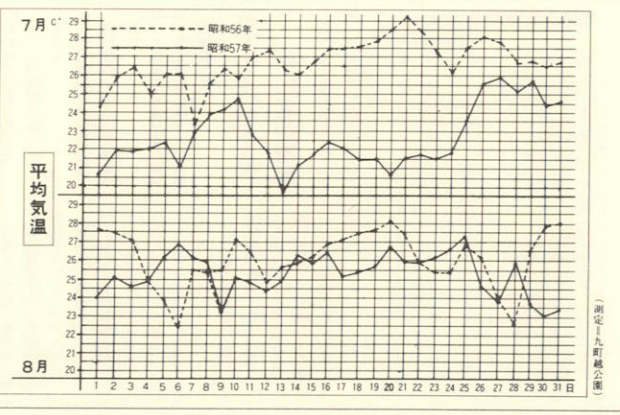
長雨の影響でしょうか。今年の夏は、例年にくらべ夏らしい日が少なく、全体的に過ごしやすかったです。

右表で、今年の七月と八月の平均気温を昨年と比較してみました。

七月は、昨年にくらべ四度・五度も差のある日が目立ちます。こうした天気で、昨年十一月間もあった熱帯夜。今年は一日もありません。

八月に入ってやや持ち直したものの、真夏日もわずかに五日間。昨年にくらべ一日も少ない状態でした。

今年も、やはり異常気象。本町で一番心配されるのが柑橘類への影響です。伊方町農協指導部によりますと、今年はやや肥りが悪いが、成熟期を迎えるこれからの天候が問題。日照量が多く、雨が少なければいいが...と話しています。



に「路側帯」できる

小中学生の通学路に

みんなの声で早々実現

町内の国道一九七号線沿いで、小中学生の通学路となっている約四キロメートルの区間に「路側帯」が新設されました。

みんなの声で実現したこの路側帯。車道と歩道を区別し、歩行者の安全を守るためのものです。今月号はその経過や喜びの声などを取り上げてみました。

伊方側二・一*

町見側一・九*

新設区間は、役場前から大浜までの約二キロメートル、九

町西から加周までの約一九キロメートルです。八幡浜土木事務所により夏休み中の八月十日に完成いたしました。

この区間は伊方中学校など小中学校四校の通学路。海岸に面した道幅の狭いところが多く、安全優先の立場から学校の行き



一列に並んで山際通行を励行する町見中学校の生徒。

危険な海側より

安全な山際通行

小中学生の通学路の安全対策は、今までも施設整備や改善などについてたびたび検討がなされ、ガードレールや横断歩道

きつかけと経過は

補導会の会合が発端

路側帯新設までのきつかけと経過は、今年五月に開かれた町補導

会の席上、町見中学校校区の通学路沿い道路路壁に、ペンキで書いて「山際通行」の文字補修の意見が出たのが発端でした。

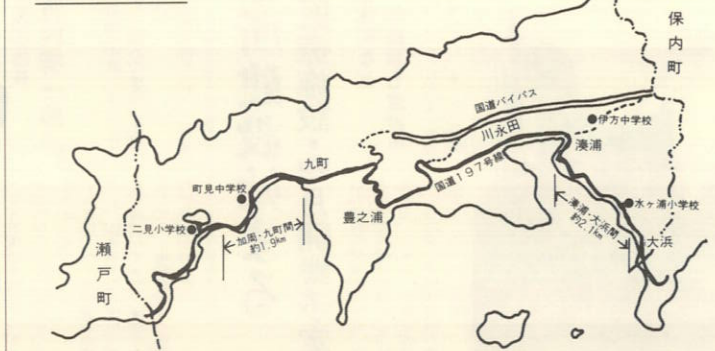
これに対し駐在所から「道路交通法では、人は右側を歩くことになっており、別段定めがある以外左側通行になる山際を歩くことは許されていないはず」とクレームがきました。

驚いたのが学校側とPTA。このままではもし事故があればたいへんなことにと、さっそく駐在所や町が加わって対策の検討が始まり、今まで町見山際通行を実施するためにはどうしたらよいかなどの話し合いが続けられました。

要望書提出

結局、差し迫った問題であり、早急に対応できるものの中から、路側帯を設けることで意見が一致。六月十四日国道の管理をしている八幡浜土木事務所と八幡浜警察署へ「路側帯設置要望書」を提出し、早期実現を要請いたしました。

路側帯新設区間



「路側帯」とは……

今回要請した路側帯は、道路を、車両が通行する部分と歩行者が通行する部分とに区別して、道路幅に幅十五センチメートルの白線が引かれて

規定では、道路幅から五十七センチメートル以上が通行できる広さになっており、普通の広い道路であれば両側に設けられています。

道路交通法では……

【道路交通法2条1項3の4】

歩行者の通行の用に供し、又は車道の効用を保つため、歩道に設けられていない側の路端寄りに設けられた帯状の道路の部分で、道路標示によって区画されたものをいう。

【道路交通法施行令第1条の2第2項】

公安委員会が路側帯を設けるときは、その幅員を0.75メートル以上としなければならないが、道路又は交通の状況によりやむを得ないときは、これを0.5メートル以上0.75メートル未満とすることができる。

まずルールを守ることから

秋の全国交通安全運動 9月21日から10日間

県下の交通事故状況

昭和57年8月末 現在		前年比	
発生件数	4,348件		-847件
死亡者数	77人		+5人
負傷者数	5,458人		-946人

九月二十一日から三十日までの十日間、全国一斉に秋の交通安全運動が実施されます。この運動は、秋の行楽シーズンに前に、正しい交通ルールとマナーの普及徹底を図ることを目的として、悲惨な交通事故をなくするための毎年、全国一斉に行われているものです。

六人に一人検査

左表で、昨年一年間の八幡浜警察署管内での交通違反検査状況を紹介します。検査件数は四千六百六十七件、管内の免許取得者数がおよそ二万八千人ですから、六人に一人くらいの割合で、なにかの交通違反で検査されていることになりました。

県下の交通事故 死亡者が増加

県下の交通事故状況は、今年八月末現在で四千三百四十年八月末現在で四千三百四十

交通違反検査状況(昭和56年)

八幡浜警察署管内	
無免許等	124件
飲酒・酒気帯び等	134
速度	1,930
追越し等	334
交差点関係	283
右左折方法等	31
積載	14
整備不良	56
通行禁止制限	570
駐停車	585
定員外乗者	73
免許証不携帯	331
その他	202
合計	4,667



井上トミさん(豊之浦)が 今年の長寿町内一

今年もお年寄り番付を作ってみました。これをみますと、東方の横綱は川口寅吉さん(二見)で95歳。西方は井上トミさん(豊之浦)が96歳で、今年の長寿町内一になりました。



お年寄りに人気のゲートボール。今年は町大会なども予定されています。

老後の生きがいとは

九月十五日は「敬老の日」でした。
長年にわたり社会に貢献してこられたおじいちゃん、おばあちゃんをいたわり、長寿をお祝いする日です。こうした敬老の日を中心として、町内それぞれの部落では、盛りだくさんの催しが行われました。

80歳以上のお年寄り

部落名	人数	部落名	人数
大 浜	14人	奥	7人
中之浜	9	向	5
仁田之浜	8	畑	9
河内	14	須賀	15
湊浦(一)	26	久保	6
湊浦(二)	1	西	4
小中浦	15	二見	13
伊方越	4	加周	6
亀浦	7	田之浦	7
中浦	6	古屋敷	3
川水田(一)	28	大成	7
川水田(二)	3	島津	6
豊之浦	24	合計	247

矢野さん(中浦)ら金婚式 おしどり夫婦に金盃

結婚して五十年、今年金婚式を迎えられた、おしどり夫婦が町内に十六組(昨年十七組)あります。

昭和八年に結婚されてから、お互いに手と手を取り合って仲むつまじくいられたことでしょう。おめでとうございます。
記念に、町長から金盃とお祝いを贈りました。敬称略！
山藤市松・トメ(大浜)
中田常市・朝子(中之浜)
道上武敏・美乃恵(仁田之浜)
田中善吉・貞子(仁田之浜)
藤堂九十太郎・ミヤコ(河内)
二宮正義・寿美子(河内)

「健康老人」の五十五人も

今年も、町の国民健康保険加入者の中から「健康老人」が表彰されます。
健康老人とは、一年間病院などでの診療を全く受けなかった七十歳以上のおじいちゃん、おばあちゃん、毎年敬老の日に表示しているものです。

- 今年、湊浦の徳田花子さんを始め五十五人に表彰状と金一疋を贈りました。表彰を受けた方々は次のとおりです。
- 【大浜】黒田トメ・矢野友四郎
- 【中之浜】木下マサコ
- 【仁田之浜】宮谷竹義・宮谷チヨ・山口イノヨ
- 【河内】藤堂九十太郎・藤堂フジエ・二宮寿美子
- 【湊浦】佐々木チエ・佐々木サノ・徳田花子・広瀬陸・松沢スナオ・山口重夫・村田コモト
- 【小中浦】石崎朝道・渡辺イト
- 【伊方越】窪田ナナエ・神野イ
- 【加周】重岡義政・古田ミツマ
- 【吉屋敷】渡辺一明
- 【鳥津】岩井米廣・竹土キクエ
- 【鳥津高吉】藤岡フミエ・道元方子
- 【大成】大成金右衛門・大成ツタエ・塩崎キクヨ

米寿(数えて八十八歳)

今年、数えて八十八歳(明治二十八年生まれ)で「米寿」を迎えられたおじいちゃん、おばあちゃんおめでとうございま



米寿 浜本清市さん(大浜) 88歳
金婚式 松本市さん(古屋敷) ヨシエ
西方関脇 川内ハツノさん(向) 95歳
東方関脇 木戸源太郎さん(河内) 92歳
東方横綱 川口寅吉さん(二見) 95歳

五年連続横綱

五年連続東方の横綱。天気がよければ、今でもみかん畑の手入れが日課。
テレビドラマの「ハイカラさん」を見ること、新聞を読むことは欠かしたことがないという。当分横綱の座はゆるぎさうがない。

歩いて畑仕事

今でも十五アールのみかん畑を管理。天気がよければ、負子(おんね)を肩に歩いて畑仕事をする。食事は三度二度、自分で料理することもある。このところ、畑仕事に行く回数も少なくなったとのこと。それも三日に一回は。

規則正しい食事

耳が遠くなったが目は非常によい。朝夕雑穀に出て、交すのを通る人といき交すのが一番の楽しみ。
長生きの秘けつは、医師が太鼓判を押した丈夫な内臓と規則正しい食事。昨年より少しやせられたよう。

けんかしてもって

「けんかしてもってです！」と五十年間をふり返る。ご主人が医師から受けた「死の宣告」を三回も、二人の努力でみこことはわけてい

兄弟で長生き

お年寄り番付の西方に出ていた宮崎チヨさん(九十歳)は、長生き兄弟として有名。二年ほど前から家の中で寝たり、起きたりの生活。緑間に出て海を眺めるのが好き。

環境影響調査案を了承

計画どおりで妥当

議員全員協議会などで協議



保健センターで開かれた町環境監視委員会

本町と愛媛県に、四国電力から提出されていた伊方発電所三号機に係る環境影響調査書案は、慎重に検討した結果、計画どおり行われており、妥当と認め了承しました。

調査書案を検討した経過と結果などを概略紹介します。

周辺環境影響少ない

八月十一日、本町と愛媛県に、四国電力から伊方発電所三号機に係る環境影響調査書案の提出がありました。調査結果は総合的にみて三号機の増設による周辺環境へ及ぼす影響は少ないものと評価されています。

本町では、この調査書案を町議会議員全員協議会、町環境監視委員会などで検討を重ねるいっぽう、愛媛県の伊方原子力発電所環境調査技術連絡会などで、調査計画どおり実施されているか、愛媛県や本町が追加指示し

環境調査案 検討経過

昭和57年2月23日 環境等調査計画(案)を承認

〔愛媛県も同日承認〕

- 8月11日 四国電力から愛媛県及び伊方町に環境影響調査書(案)が提出された
- 8月11日 即日役場の課長会で説明
- 8月18日 関係各課との検討会を開催
- 8月19日 伊方原子力発電所環境調査技術連絡会で検討
- 8月20日 伊方町議会議員協議会で説明
- 8月20日 伊方町環境監視委員会で説明
- 8月23日 伊方原子力発電所環境調査技術連絡会で検討
- 8月25日 伊方原子力発電所環境調査技術連絡会で検討
- 8月27日 関係各課との検討会を開催
- 8月31日 伊方町議員全員協議会で町の検討結果案を了承
- 8月31日 伊方町環境監視委員会で町の検討結果案を了承
- 9月13日 伊方町長が検討結果案を承認〔愛媛県知事も同日承認〕

故郷の思い出

題字 福田直吉伊方町長

「ふる里は遠きにありにて想ふも」なつかしいふる里。それは都会の雑踏の中で生活する私たちの心をやわらげてくれる唯一のもの。私は、昭和十年高等小学校を卒業後、今の東宇和郡宇和町、大分県臼杵市、そして大阪へ出たのが昭和十三年のこと。

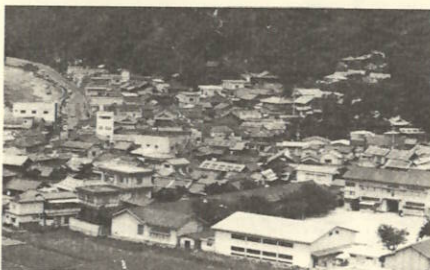
金属関係の会社に入社して以来三十七年間無事に務め、昭和五十年に定年退職。さらに五年間勤務のゴルフを楽しむながら年金生活を送っています。

私は幼い頃に父を亡くしました。ですから父への思い出はあまり記憶にありませんが、母は長寿だった



一銭で“あめ玉”を二個

上田熊雄(西出身=大阪府在住)



上田さんの出身地西方面、手前が九町小学校。

がよくなりました。秋はなんといっても秋祭、私も回ほど牛鬼をかいたこと(二円の百分の一)もあって大きな「あめ玉」を二個買ったことを覚えています。

冬は風引。海岸を西へ東へと走ったものです。海岸を思い出すのは地引き網で、昭和の初期には「シロコ、イワシ、アジ」がよく取れ、手伝いに行くとかケツにいっぱいもったものです。

思い起せば五十年前のことになります。同級生の皆さんは随分お変わりになったことでしょうか。仲良しだった飯沼末廣さん、菊次郎さん、伝義さん、

時男さん……それぞれの立場で社会に貢献されたことだと思います。いつか機会がありましたらぜひお会いしたいものです。

二年前に帰郷したとき、今は亡き母がよく働いていた畑で望郷の念と母への恩恵を禁じえず作った句です。

ふる里の土に染み入る母の香に
我れ懐しく
有り日目を忍ぶ

町の検討結果 国の要綱に照らし審議

本町が、四国電力から提出された調査書案を、国の要綱などに照らして審議検討した結果は以下のとおりです。

一、環境調査は計画に従って実施されており、妥当なものと認められる。

二、環境保全のために講ずる対策及び影響の予測評価は、国の要綱に従って実施されており、おおむね妥当なものと認められる。

三、そのほか環境保全のために講ずる措置は、計画にしている措置のほか

(イ)水生生物の調査については、温排水の拡散状況等との関連に留意して行う必要がある。

(ロ)そのほか、工事の進捗より状況及び発電所の運転開始後の配慮する必要がある事項が生じた場合には、適宜これに対する監視計画を策定し、これを実施するとともに、所要の対策を講ずる等、環境保全に

縦覧及び説明会 開催のお知らせ

国の指導に基づき、四国電力による伊方発電所三号機に係る環境影響調査書の縦覧、説明会が次のとおり開催されます。

縦覧 昭和五十七年九月十七日から十月七日

説明会 平日……午前九時から午後五時
土曜日……午前九時から十二時

なお、四国電力事業所の縦覧場所は土・日祭日も平日と同じ時間帯で縦覧できます。

▽場所 四国電力伊方営業店、伊方町役場、役場町見支所

このほか、三崎町・瀬戸町・保内町・八幡浜市でも縦覧が行われます。

▽意見の提出 縦覧所に備え付けの「意見書」が用紙で、気付いた

月日	時間	場所
昭和57年9月20日(月)	午前10時	町見会場 九町(町見体育館の東側)
	12時	湊浦会場 湊浦(日本建設宿舍の構内)
9月22日(水)		ピジターズハウス会場 九町越公園内(原子力展示館)

人権コーナー

みな同じ
人の子どもに
人の親

【応募資格】 町内在住の二十歳以上の男女

【送付先】 役場総務課内「人権に関する論文係」(締め切り) 昭和五十七年十月二十日(当日消印有効)

【審査発表及び表彰】 「審査発表及び表彰」

一、応募論文は審査委員会を審査し、入選作品数点を決定します。

二、入選者には、人権週間(十月上旬)に発表を行います。賞状及び記念品を贈ります。

【応募方法】

一、応募論文は一人一点、四百字語原稿用紙五枚以内で縦書きとし、末尾に住所・氏名・年齢・職業を明記してください。

